

# 2012年度 環境活動レポート

(2012年7月～2013年6月)

 株式会社 **マスナガ**

## < 目 次 >

0. 環境活動レポート発行にあたり	1
1. 組織の概要	2
2. 対象範囲	3
3. 使命感（企業使命感）、行動の原点（5つの誓い）、環境方針	4
4. 環境目標及び環境活動計画	5
5. 環境目標の実績	6
6. 環境活動の取組結果と、その評価	6
7. 次期環境目標	11
8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	12
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	13

### 0. 環境活動レポート発行にあたり

#### 1) はじめに

この環境活動レポートは、当社のエコアクション 21 環境経営システム（以下、E A 2 1 という）取り組み後の 2 0 1 2 年 7 月～2 0 1 3 年 6 月における実績を中心に編集しています。

当社は、「会社概要」及び「業務内容」の通り「機械工具、器具、鋸螺などの販売、据付業務」を営んでおり、今後も環境配慮型の経営を実践し、社会の生産活動に寄与して参ります。

#### 2) 取り組みの状況（経過）

- 2 0 0 5 年 1 月 当社社長による E A 2 1 構築・取得宣言、E A 2 1 の概要、要求事項の説明
- 2 0 0 5 年 9 月 書類審査及び実地審査
- 2 0 0 5 年 1 1 月 認証登録（機械工具、器具、鋸螺などの販売、据付業務）及び登録証授与
- 2 0 0 6 年 1 0 月 当社取扱商品のネジを六価クロムから三価クロムへ移行を進めた。
- 2 0 0 8 年 4 月 2 0 日、「同友の森」にて植林活動に参加
- 2 0 0 9 年 3 月 8 日、「同友の森」にて第 2 回植林活動に参加
- 2 0 0 9 年 3 月 液体肥料「P r o T e r r a」「G P 2 1」取扱い開始
- 2 0 0 9 年 7 月 屋久島環境研修参加（社長、店長）
- 2 0 0 9 年 9 月 くまもと「水」検定受験（全社員 3 級合格）
- 2 0 1 0 年 3 月 7 日、「同友の森」にて第 3 回植林活動に参加
- 2 0 1 0 年 8 月 くまもと E c o プロジェクト参加
- 2 0 1 1 年 2 月 小型充電式電池リサイクルキャンペーン 1 位入賞
- 2 0 1 1 年 3 月 6 日、「同友の森」にて第 4 回植林活動に参加
- 2 0 1 2 年 3 月 社内蛍光灯の一部を L E D 化
- 2 0 1 2 年 9 月 社用車 3 台をエコカーに変更

## 1. 組織の概要

【社名】	株式会社 マスナガ
【所在地】	〒860-0834 熊本市南区江越2丁目7番8号
【設立】	1975年(昭和50年)8月 / 創業 1949年(昭和24年)
【資本金】	1,200万円
【役員】	森 弘国(代表取締役社長)、森 弘(取締役会長)、江上勇次郎(取締役専務) 森 由美子(取締役)、森 国子(取締役)、江上健次郎(監査役)
【環境管理責任者】	江上勇次郎
【TEL】	096-370-5000(代)
【FAX】	096-370-5001

### 事業内容

【事業】	機械工具・器具・鋏螺などの販売、据付け及び付帯する一切の業務 (半導体液晶関連製品・機械工具・器具・鋏螺・事務機など)
【仕入先】	ユアサ商事、キーエンス、トラスコ中山、日伝、SMC、 山形オイルシール 他(加工メーカー含む) 約130社(敬称略)
【販売先】	ルネサスエレクトロニクス九州・山口(株)、(株)アラオ、アイデイエス、九州電子(株) 九州日誠電気(株)、JR九州商事(株)、(株)ケイ・エス・ケイ 他約300社(敬称略)
【取引銀行】	肥後銀行、熊本銀行

### 事業の規模

【社員数】	15名
【土地・建物】	店舗及び事務所 土地: 459 m <sup>2</sup> 建物: 185 m <sup>2</sup> 延べ床面積: 352 m <sup>2</sup>
【年商】	2008年(平成20年)6月実績 572,564(千円) 2009年(平成21年)6月実績 335,438(千円) 2010年(平成22年)6月実績 356,653(千円) 2011年(平成23年)6月実績 409,000(千円) 2012年(平成24年)6月実績 349,827(千円) 2013年(平成25年)6月実績 386,075(千円)

### 業務内容

#### 【市販部品販売】

##### ●半導体・液晶関連製品

クリーンルーム用機器 静電対策用機器

真空機器(ベローズ・磁性流体シール・配管部品)

特殊環境用製品(真空・高圧・高温・薬液・薬ガス等環境用

リング・ベアリング・バルブ・継手等)

洗浄機器 ポンプ(真空・薬液) チラーユニット

測定機器 光学機器

●装置用部品関連

モーター・制御機器 伝動機器 油空圧機器 配管・継手・チューブ  
直動機器 軸受 Oリング 軸封 潤滑剤

●機械・工具関連

ネジ ボルト (ISO・ユニファイ) 切削工具  
測定工具 作業工具 電動工具 工作機械 工作機用工具

●工場用備品関連

工場用備品 作業台 部品棚 ワゴン 物流・運搬機器 コンテナ 樹脂製品

●材料

ステンレス・アルミ・チタン他金属材料 エンジニアリングプラスチック等樹脂材料

**【加工品・特注品 製作】**

●各種材料による部品加工

金属材料 (ステンレス・アルミ・銅・チタン・ハステロイ・インコネル等)  
樹脂材料 (MCナイロン・PEEK・POM・ベスペル・テフロン等)  
セラミック カーボン

**2. 対象範囲 (認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発効日**

**対象範囲**

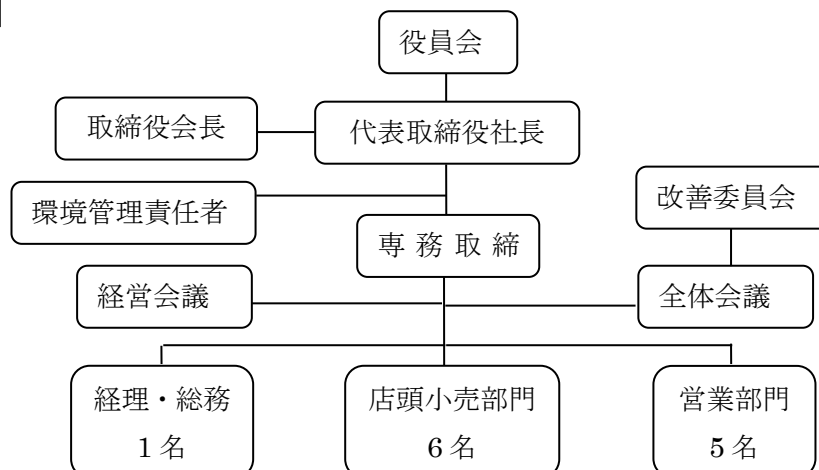
**【対象とする組織】** 株式会社マスナガに在籍する全社員

**【対象とする活動】** 機械工具、器具、鋏螺、環境改善資材等の販売・据付業務

**【対象期間】** 2012年7月～2013年6月

**【発行日】** 2013年10月22日

**【組織図】**



### 3. 使命感（企業使命感）、行動の原点（5つの誓い）、環境方針



代表取締役社長 森 弘国

#### 使 命 感

信頼を愛で結んで、<sup>あした</sup>未来を拓く

株式会社 マスナガ

#### 行動の原点（5つの誓い）

- ビジョン 一、私は、人間尊重をベースに、最良のパートナーとして  
社会に貢献する事を誓います。
- 商 品 一、私は、ニーズにあった価値あるものを提供する事を誓います。
- 顧 客 一、私は、正確・親切・迅速に、笑顔で対応する事を誓います。
- 管 理 一、私は、報告・連絡・相談・確認を密にし、業務の効率アップを図る事を  
誓います。
- チームワーク 一、私は、和を大切に人格向上を目指し、いかなる問題も解決する事を  
誓います。

#### 環境方針

- 一、 私たちは、「最適生産、最適消費、最少廃棄」の  
持続可能な循環型社会を構築し、美しい地球を未来に引き継ぎます。
- 一、 私たちは、地球や地域の環境保全を心掛け、  
エコマーク商品等の環境にやさしい商品の販売と、  
情報提供に積極的に取り組みます。
- 一、 私たちは、環境問題の現状や環境経営の意味を理解し、  
環境関連法を遵守することはもとより自覚を持って行動します。

策定日 2012年7月2日

株式会社マスナガ

代表取締役

森 弘国

## 4. 環境目標及び環境活動計画

当社は、2012年7月～2013年6月の環境目標を次の通り定め、実施した。

### 2012年度 環境目標及び活動計画

#### I 長期目標

達成期限 2015年6月

- CO2排出量の目標 2008年度比 92%
- 水使用量（一人当たり）の目標 2008年度比 84%
- 廃棄物総排出量、廃棄物焼却量の削減 2008年度比 70%

#### II 短期（2012年度）目標及び活動計画

##### (ア) CO2排出量の削減目標 2008年度比 94%

- ① エアコン使用基準遵守
- ② 社内照明のLED化推進
- ③ 毎月の使用量をグラフ化して掲示する
- ④ アイドリングストップ運動継続
- ⑤ エコカーへの転換
- ⑥ グリーンカーテンで店舗内のエアコン効率向上

##### (イ) 水使用量（一人当たり）の削減目標 2008年度比 88%

- ① 使用量をグラフ化して掲示する

##### (ウ) 廃棄物の削減目標 2008年度比 70%

- ① 梱包材の再利用を推進する
- ② 電子化を推進し紙使用量を削減する 購入量 2011年度比 70%
- ③ カタログは100%配布する

##### (エ) グリーン購入 購入品の80%

- ① 紙製品は再生紙を指定する
- ② その他消耗品もグリーン購入を基本とする

##### (オ) 環境に配慮した商材の販売促進

- ① 三価クロム製品、LED照明等環境関連商材の販売 売上 1200万
- ② 三価クロム製品比率を向上させる 60%⇒70%

##### (カ) 在庫の低減 在庫金額 前年比 80%

- ① 商品データを登録し受注管理システムを立ち上げる
- ② 適正在庫数の設定を推進する

##### (キ) 環境意識の高揚

- ① 環境関連の講演を受講
- ② 植林などの環境ボランティアへ参加
- ③ 社内教育

##### (ク) 地域貢献

- ① 地域の清掃活動等

## 5. 環境目標の実績

### I 長期目標

達成期限 2015年6月

- CO<sub>2</sub>排出量の目標 2008年度比 92%
- 水使用量（一人当たり）の目標 2008年度比 84%
- 廃棄物総排出量、廃棄物焼却量の削減 2008年度比 70%

### 2012年度達成状況

項目	2008年度 実績	削減量 目標	2012年度 実績	削減量 実績	2008 年度比	削減量 達成率
CO <sub>2</sub> 排出量	43238.0kg	3459kg	38552.2kg	4685.8kg	89.2%	135%
水使用量/人	14.9m <sup>3</sup>	2.38m <sup>3</sup>	11.5m <sup>3</sup>	3.4m <sup>3</sup>	77.2%	143%
廃棄物総排出量	1.93 t	0.579 t	1.62 t	0.31 t	83.9%	53.5%

※電力のCO<sub>2</sub>排出係数は各年度の数値を使用

2012年度は未発表のため前年度の0.525kg/kwhを使用

### II 短期（本年度）目標及び活動計画

数値目標と実績

	基準値	目標比率	実績値	比率	達成率
CO <sub>2</sub> 排出量	43238.0kg	94%	38552.2kg	89.2%	180%
水使用量/人	14.9m <sup>3</sup>	88%	11.5m <sup>3</sup>	77.2%	190%
廃棄物	1.93t	70%	1.62t	83.9%	53.5%
紙購入量(A4)	85,000枚	70%	70,000枚	82.4%	58.8%
グリーン購入(事務品)	70%	80%	78%		80%
環境関連商材販売		1200万	1348万		112%
3価製品比率	60%	70%	75%		150%

## 環境活動の取組結果と、その評価

### (ケ) CO<sub>2</sub>排出量の削減

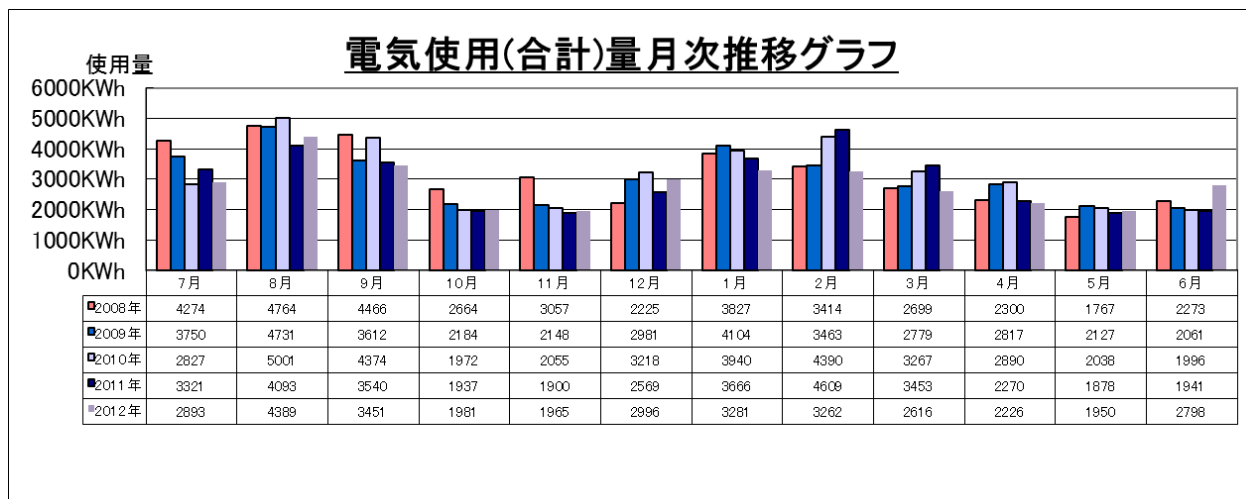
#### エコカーへの転換

ハイエース・レグナム・カローラを廃車し、社用車としてNBOXを2台とミラージュを一台購入した。また会長は個人でプリウスを購入された。エコカーへの乗り換えで燃費が向上し化石燃料の使用量が前年比71%に削減できた

2012年度 燃費集計				
燃料	車種	走行距離 km	消費燃料 L	燃費 km/L
ガソリン	プリウス	6,429	337	19.1
	ミラージュ	12,555	712	17.6
	NBOX田中	24,129	1,371	17.6
	NBOX村上	19,594	1,204	16.3
	アクティ	16,053	1,060	15.1
	カローラ	4,360	473	9.2
	フォレスタ	17,319	2,129	8.1
	合計	100,438	7,287	13.8
軽油	トラック	2,634	257	10.2
	ハイエース	4,541	610	7.4
	合計	7,175	867	8.3

## エアコンの使用基準遵守

2012年度10月より電話の受付時間を夕方18時で終了するように変更したため、店頭の終業時間が30分～1時間ほど早くなり電灯の使用電気が若干減少した。また冬季2～3月の平均気温が高かったため暖房に要する電力の消費が抑えられたため、全体としては昨年比で約4%減少2008年度比では90%まで削減できた。



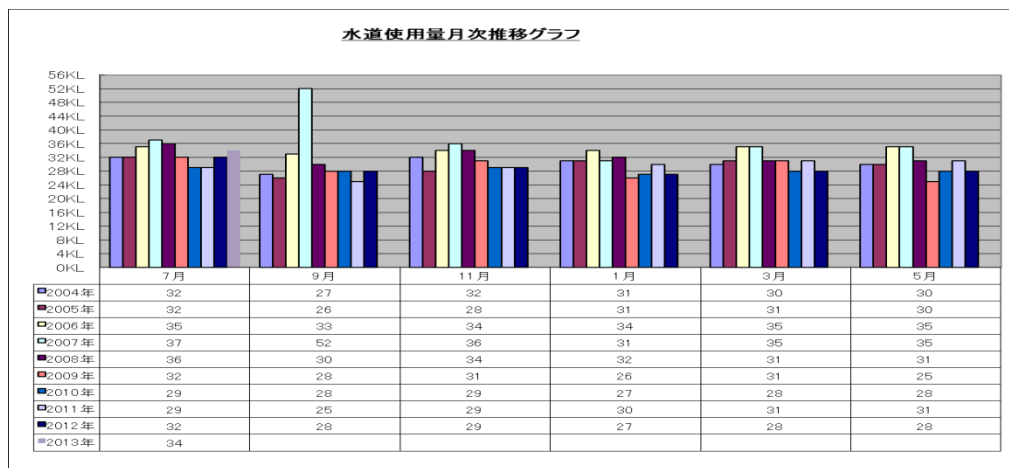
## グリーンカーテンで店舗内のエアコン効率向上

2012年度は設置が遅かったため生育が悪くカーテンを形成することができなかった。反省を活かして2013年には5月から設置して順調に成長した。しかし鉢に2～3本植えたためか根の生育が悪く葉の茂り方がまばらで、玄関に想定していたほどの日陰はできなかったためエアコンの効率に影響をあたえることはできなかった。次回には日影ができるように再チャレンジする。



## (コ) 水使用量（一人当たり）の削減

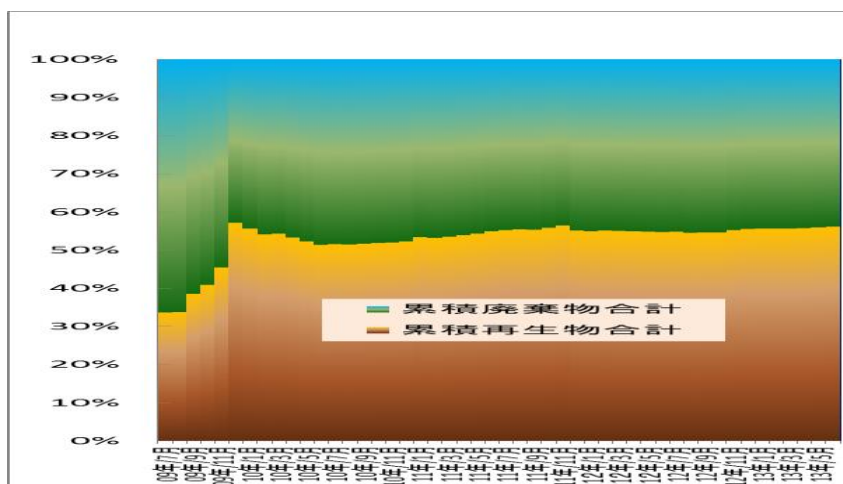
マイクロバブル水の効果検証を止めたため1月より月に約3m<sup>3</sup>ほど使用量が減少した





### (サ) 廃棄物の削減

分別廃棄を徹底して行っている結果、廃棄可燃物が昨年より75kg(14%)と廃棄不燃物が146kg(50%)其々減少した。再生と廃棄量を比較すると、年々再生の比率が高くなり続けている



### (シ) グリーン購入

事務用品はアスクル等でエコ製品を継続して購入している

### (ス) 環境に配慮した商材の販売促進

三価クロム製品への切り替えが進行している

### (セ) 在庫の低減

在庫のネジボルト類から商品データ作成作業を継続中

### (ソ) 環境意識の高揚

8月5日 同友の森下草刈りへ参加

9月8日 今期の環境への取組を周知

11月10日 動く環境教室を社内を実施



## 7. 次期環境目標

### 2013年度 環境目標及び活動計画

#### I 長期目標

達成期限 2015年6月

- CO2排出量の目標 2008年度比 92%
- 水使用量（一人当たり）の目標 2008年度比 84%
- 廃棄物総排出量、廃棄物焼却量の削減 2008年度比 70%

#### II 短期（本年度）目標及び活動計画

(タ) CO2排出量の削減目標 2008年度比 65%

- ⑦ エアコンを新機種へ置換える
- ⑧ 社内照明のLED化推進（40本追加する）
- ⑨ 毎月の使用量をグラフ化して掲示する
- ⑩ アイドリングストップ運動継続
- ⑪ エコカーへの転換（2台導入）

(チ) 水使用量（一人当たり）の削減目標 2008年度比 75%

- ② 使用設備と使用量を明確にして見える化を図る

(ツ) 廃棄物の削減目標 2008年度比 70%

- ④ 廃棄不燃物のうち有価物を分別し再生業者へ依頼する
- ⑤ 梱包材の再利用を推進する
- ⑥ 電子化を推進し紙使用量を削減する 購入量 2011年度比 70%
- ⑦ カタログは100%配布する

(テ) グリーン購入 購入品の80%

- ③ 紙製品は再生紙を指定する
- ④ その他消耗品もグリーン購入を基本とする

(ト) 環境に配慮した商材の販売促進

- ③ 三価クロム製品、LED照明等環境関連商材の販売 売上1500万

(ナ) 環境意識の高揚

- ④ 環境関連の講演を受講
- ⑤ 植林などの環境ボランティアへ参加
- ⑥ くまもと水検定受験

(ニ) 地域貢献

- ② 地域の清掃活動等

## 8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟、苦情の有無については、2013年8月3日（土）に当社の環境管理責任者により【**環境関連法一覧表(兼)遵守状況チェック表**】にて確認し、結果は次の通りであった。

- 法律違反の有無                      無し  
    当社の環境関連法は、廃掃法・消防法・顧客からの要求などです
- 訴訟の有無                              無し
- 苦情の有無                              無し

創業時から法律違反、訴訟、苦情は無くこのまま続けたい。

## 9. 代表者による全体評価と見直しの結果

### 1. 環境経営システムが有効に機能しているか

#### 1) 「環境目標及び環境活動計画」

本業での取組として、カッティングシートの代替商品として繰り返し使用できるノンマグシートの拡販に取組み、ステッカーや駐車場の案内用途で実績ができた。また水銀灯をLED化する商材をPRしたがこちらは受注には至らなかった。

社用車をエコカーに乗り換えたことによって化石燃料の消費量を大きく抑えられたことと、電話の運用を見直し店頭の閉店時間を30分～1時間早まったことで電灯の電気消費も削減することができたためCO<sub>2</sub>の排出係数が上昇しているにも関わらず、排出量を目標以上に削減することが出来た。

水使用量は数年間継続してきたマイクロバブル発生器の効果検証を中止したことで、人員増加にも関わらず減少した。水を消費している設備の認識と量の把握が出来ていなかったことに対して反省と改善が必要である。

廃棄物については総量が2008年度比84%という結果だった。内訳として分別の徹底で廃棄可燃物が昨年より75kg（14%）減少した事と、金属廃棄物を有価物として業者へ引き取ってもらうことが出来たため廃棄不燃物が146kg（50%）其々減少した。

#### 2) 「実施体制の構築」

本年度は4名採用し2名が退社、人員に大きく変動があったため、4月に役割分担を再構築した。活動に支障はなかった。

#### 3) 「環境コミュニケーション」

2011年度環境活動レポートは、エコアクション21中央事務局ホームページ及び自社ホームページで公開し、主要顧客と銀行及び当社店頭で配布した。2012年度分は作成中であり完成次第同様の手段で公開する。

#### 4) 「環境上の緊急事態への準備及び対応」

9月8日に火災を想定した訓練を行った。実際の緊急事態は発生しなかった。

#### 5) 「環境関連文書及び記録の作成・整理」

関連する文書と記録は、棚に保管し全員が閲覧できるようにしている。

### 2. 環境への取組は適切に実施されているか

#### 1) 「環境関連法規等の取りまとめ」

各種法令への違反はなかった

#### 2) 「教育・訓練の実施」

2012年9月8日に環境活動研修及び緊急事態の訓練を行った。11月10日には熊本県環境センターの講師による「動く環境教室」を実施した。また熊本県主催の取組みへの参加や、LED照明取付け実習、同友の森下草刈り参加など積極的に取り組んだ。

#### 3) 「実施及び運用」

今期、実施・運用したもの、していないものは「全体会議議事録」の通り。

#### 4) 「取組状況の確認及び問題の是正」 前述の報告の通り。

## 今後の取組みへの指示

- 1) 本業での取組みとして3価クロム製品・ノンマグシート・LED等の拡販を継続し、売上目標を設定し取り組むこと。
- 2) CO<sub>2</sub>排出量削減活動のうち、電気使用量削減について空調機の置換えによる削減効果を検討すること。また引き続きLED化を推進すること。
- 3) 化石燃料の使用量については今年度も2台のエコカー導入を予定しているが、さらに配車の工夫やエコドライブの実施等で削減すること。
- 4) 水使用量は、使用している設備とその使用量を正確に把握すること。グリーンカーテン設置時に雨水の利用を検討すること。
- 5) 廃棄不燃物の内、有価物を確実に分別し再資源化を促進すること。
- 6) 地域貢献の一環としての取組みを検討すること。

以上



熊本県熊本市南区江越2丁目7-8

TEL 096-370-5000

FAX 096-370-5001

編集：環境管理責任者 江上勇次郎

2013年10月22日(火)